

サレビア

特集

中央臨床検査部

中央臨床検査部の紹介/小児科のご案内/超音波内視鏡の紹介/
水頭症外来を開始しました/スタッフインタビュー/市民公開
講座のお知らせ

Vol.
39



中央臨床検査部の紹介

みなさんは臨床検査技師をご存じでしょうか？

中央採血室や生理検査室でお会いしているかもしれません。

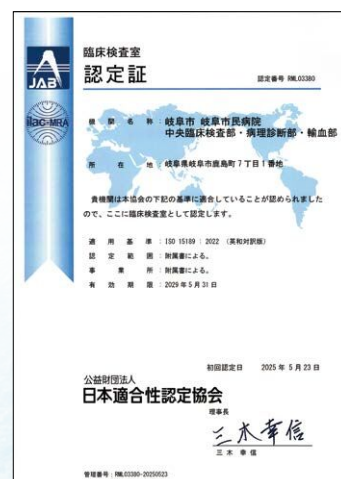
あまりなじみがないと思いますので、ご紹介させていただきます。中央臨床検査部は、一般検査、血液検査、生化学免疫検査といった採血、採尿した検体の検査と、心電図、呼吸機能検査、心臓超音波検査などを行う生理検査をあわせた臨床検査部門、例えばポリープが悪性か良性かなどを検査する病理検査部門、安全に輸血ができるかを検査する輸血検査部があります。4名の医師と約40名の臨床検査技師が、それぞれの部門で日々研鑽し迅速で正確な検査結果を臨床現場に反映できるよう努めています。



【ISO15189 の認証を取得しました】

2025年5月に臨床検査室の品質と能力に関する国際規格である「ISO15189」を取得しました。これは検査の正確性や安全性、職員の技術水準、設備管理など検査に関わる多くの項目で厳しい基準を満たした施設だけが認められる国際認証です。

この取得により患者さんにも大きなメリットがあります。まず、精度の保証された検査結果を基に医師が診断や治療方針の決定をすることができます。また、検体の取扱いや採血、



検査に来られた患者さんに対する安全管理体制が強化されているため、安心して検査を受けることができます。

ISO15189は取得して終わりではなく、継続的な改善を求められるため私たちは常に業務を見直し、より迅速で質の高いサービスの提供を目指し続けることが義務づけられています。これは結果として患者さんの満足度向上に繋がると思います。

これからも安全で信頼できる検査を提供し、地域みなさんの健康を支える体制づくりに取り組んでまいります。

【中央採血室の混雑緩和への取り組み】

中央採血室の運営は、中央臨床検査部を中心に行っています。

混雑時は待ち時間が大変長くなってしまいうこともありますが、採血業務を安全に効率よく進めるために様々な取り組みをしています。

まず、**採血ブースを増設**しました。さらに、**自動受付機**を導入し、スムーズな手続きが可能となりました。**案内カードのバーコードをかざす**だけの簡単な操作で初めての方でも安心してご利用いただけます。

また、「採血室ヒートマップ」(混雑予想)を作成し、当院ホームページや患者さん向けアプリ(コンシェルジュ)、採血室前掲示板に公開しております。次回予約時の参考にしていただいたり、混雑日をさけ診察日前に採血を済ませる「診察日前採血」も可能です。ご利用の際は11時～14時に来院いただくと、比較的スムーズにご案内できます。ご希望の方は主治医へお申し出ください。



中央臨床検査部のページ

採血室混雑予想 (2026年1月)

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

大変混雑	→	混雑	→	比較的 空いている
------	---	----	---	--------------

- ・1月は、1月12日(月)に祝日があり前後の週に予約が分散されるため混雑が予想されます。
 - ・月の前半は、統計上検査依頼が増加し予約が集中する傾向があり混雑が予想されます。
 - ・とくに1月5日は、上記条件が重複、また、年始という条件もあり、かなりの混雑が予想されます。
 - ・月末は、統計上予約患者が少ない傾向にあります。
- 患者さんにおかれましては、可能な範囲内で予約日の変更を主治医とご相談ください。

中央採血室



小児科のご案内

「for every child's smile」

小児科医は子どもたちの総合医です 0歳から18歳まで



日本小児科学会は、以前より小児科が診療する対象年齢を「成人するまで」としています。2022年から成人年齢が18歳に引き下げられ、また今年度から県内の多くの自治体で子ども医療費助成事業の対象が高校生世代までとなりました。

当院では、『小児科医は子どもたちを成人するまで見守る、子どもたちの総合医である』との考えから、新生児から高校生世代（18歳に達する以後の最初の3月31日）までを、一般外来、救急外来ともに、原則として小児科での診療対象とさせていただいております。思春期は、心身ともに子どもから大人へ移行する、非常に特殊で繊細な時期です。当院小児科では子どもたちの総合医として初期診療にあたり、必要に応じて内科系各専門科、外科系各診療科とも適切に連携してまいります。

「for every child's smile」を合言葉に、小児科スタッフ一丸となり、すべての子どもたち、そして保護者の方にも、より安心できる小児医療を提供できるよう、これからも努力していきます。



小児科のページ

「小児血液疾患センター」では小児がん等の血液腫瘍性疾患の診療を専門的に行い、AYA世代と呼ばれる若年成人についても診療対象としています。



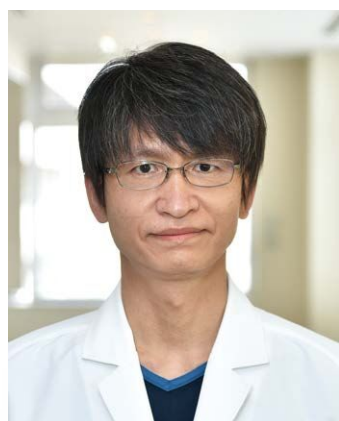
超音波内視鏡の紹介

最新の超音波内視鏡システムを導入いたしました

当院消化器病センターに、最新の超音波内視鏡システムを導入いたしました。

超音波内視鏡は、先端に小型の超音波装置が付いた内視鏡を口から胃や十二指腸まで挿入し、体の内部から超音波を当てて主に膵臓や胆道（胆嚢・胆管）を観察する検査です。従来の超音波検査や CT・MRI でも観察は可能ですが、超音波内視鏡ではより高精細に臓器を直接近くから見ることができ、微小な病変（がんなど）の発見にも優れていることが大きな特徴です。このため、他の検査では見逃されてしまう可能性のある疾患の診断や、膵癌・胆道癌の早期発見に大きく貢献します。治療が難しいこれらのがんにおいて、早期診断は非常に重要であり、超音波内視鏡は不可欠な検査法といえます。

また、超音波内視鏡は「画像診断」にとどまらず、遺伝子診断に用いる組織採取や、胆管・膵管の閉塞、腹腔内液体貯留といった疾患に対する治療にも応用されます。膵・胆道領域における診断・治療は近年急速に進歩しており、その中心的役割を担う装置です。



消化器病センター長
兼地域連携部長

岩田 圭介

今回導入した新システムにより、従来よりもさらに鮮明な画像や正確な器具操作が可能となり、診断精度の向上に加え、安全かつ確実な生検・治療が実施できるようになりました。

皆さまの健康を守るため、より質の高い医療を提供できるものと考えております。



消化器内科の
ページ



水頭症外来を開始しました（脳神経外科）

高齢者に発症する認知機能低下には様々な原因があり、その理由の一つに**水頭症**があげられます。水頭症とは、脳の内部に髄液が過剰にたまって脳を圧迫し、様々な症状を引き起こしてしまう疾患ですが、手術で改善できる治療可能な認知症です。この病気を専門に扱う外来「水頭症外来」を令和7年10月から開始しました。

<水頭症の主な症状>

歩行障害・認知症・尿失禁

<検査方法>

CTやMRIで撮影し頭蓋内に髄液が溜まっているか確認します。

髄液が溜まっていることを確認したら、髄液タップテストといって、腰部から髄液を少量抜き、症状の改善が認められるかどうかで治療の必要性を判断します。

<治療法>

髄液シャント術といい、頭蓋内にチューブを挿入し、髄液が溜まらないように体内の別の場所へ流す手術を行うことによって症状の改善が得られます。



認知症



歩行障害

尿失禁

『岐阜市民病院で取り組むメリット』

岐阜市民病院は、これまで脳神経内科で「もの忘れ外来」を開設しているため、検査の結果、水頭症が否定的な場合や治療で改善を認めない場合などには、脳神経内科と連携して原因検索や治療を進めていくことが可能です。

水頭症を疑う症状があるかたは、まずはかかりつけ医にご相談いただき水頭症外来の予約申し込みをお願いいたします。



脳神経外科の
ページ



脳神経外科部長

玉川 紀之

スタッフインタビュー

今年度4月入職の臨床検査技師にインタビューしました。

Q. 臨床検査技師になろうと思った理由を教えてください。

A. 幼少期に入院した際お世話になり、高校生の時にその職種が臨床検査技師だと知りました。／母が臨床検査技師で、同じ道を選びました。／高校生の時に野球部のマネージャーをしていて、エコー検査を間近で見る機会があり、興味をもち、臨床検査技師を知りました。／父が放射線技師で、エコー検査に興味があり、高校生の時の職業体験を機に決めました。／高校生の職業案内で知って、元々医療に興味があったので決めました。



Q. 岐阜市民病院を職場として選んだ理由は？

A. 生まれ育った地元で働きたかったからです。／大学の先生からの紹介と卒業生の方の話を聞いて決めました。／1年間、臨時職員として働いて良かったので決めました。／総合病院を希望していて、過去に当院で勤務経験のある大学の先生がすすめてくれました。／岐阜が好きなので地元に貢献したいと思い選びました。

Q. 実際に臨床検査技師として働いてみてどうですか？

A. とても責任感のいる仕事だと実感しています。／医師や他の職種の方からの問いに答えられるようになってきたことに、少しずつ成長を感じています。／プロ意識を持ったスペシャリストの集まりだと思いました。

Q. 休日はどのように過ごしていますか？

A. サイクリング／映画鑑賞／カフェ巡り／ボクシング／子供と遊ぶ／ゴルフの打ちっぱなし／温泉巡り

Q. 地域の皆様へのメッセージ

A. 現在、新人育成のためのキャリアパスというプログラムのもと、多岐にわたる中央臨床検査部の各部門を回ってスキルアップに取り組んでいます。皆様に直接お会いすることは少ないかもしれませんが、安心して検査、治療を受けていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



市民公開講座のお知らせ

市民公開講座
のお知らせ

開催日 偶数月 土曜日または日曜日

開催場所 みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜市司町40-5）

定員 100名もしくは200名（事前申し込み不要・先着順）



令和8年も引き続き、みんなの森ぎふメディアコスモスで開催いたします。今後の開催予定は以下の表のとおりです。

（詳細は、ホームページ等でご確認ください）

参加無料、事前申し込み不要ですのでお気軽にご参加ください。



開催	開催月日	開催場所	担当部署・講演者
第152回 (令和7年度第6回)	令和8年2月1日 日曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	脳神経外科部長 玉川 紀之 認知症疾患医療センター センター長 犬塚 貴
第153回 (令和8年度第1回)	令和8年4月18日 土曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	循環器内科（予定）
第154回 (令和8年度第2回)	令和7年6月20日 土曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	外科（予定）
第155回 (令和8年度第3回)	令和8年8月30日 日曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	産婦人科（予定）
第156回 (令和8年度第4回)	令和8年10月24日 土曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス ドキドキテラス	リハビリテーション科（予定）
第157回 (令和8年度第5回)	令和8年12月27日 日曜日 午後2時～午後3時	みんなの森 ぎふメディアコスモス みんなのホール	未定

令和7年12月時点の予定です。講演内容は変更となる場合があります。

岐阜市公式 YouTube チャンネルで配信中

これまで開催した市民公開講座を岐阜市公式 YouTube チャンネルで配信しております。

配信中の講座は岐阜市民病院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

市民公開講座の動画



発行年月：令和7年12月 発行者：岐阜市民病院 地域連携部、広報委員会
〒500-8513 岐阜市鹿島町7丁目1番地 TEL：058-251-1101
ホームページ：<https://gmhosp.jp/>

岐阜市民病院
ホームページ

